

学生新聞

放送大学
埼玉学習センター
埼玉CSC交流会
学生新聞
編集委員会
〒330-0853
さいたま市大宮区
錦町682-2
TEL048-650-2611

第8回埼玉学習センター学園祭 フェスタに集い、仲間と交流を 来生 新副学長の講演は11日

埼玉学習センターが毎年開催している学園祭・埼玉フェスタが、今年も10月11日(土)～12日(日)の2日間、開催されます。今年のフェスタは第8回となりました。

このフェスタは学生や同窓生、教職員が協力して交流を深めることで、埼玉学習センターを楽しむ学びの場にするために毎年、催されています。

今年もまた、イベント担当の各サークルがそれぞれ魅力的な催しを企画して、日頃の成果を発表したり、会員以外の一般の方々も楽しんで参加できるイベントにしようと知恵を絞ってきました。

第1講義室
12:30～ 熟年会 公開勉強会
14:00～
8階講義室
10:30～ ソシアルダンス
12:00～ フォーマーセッション・ダンス他
来場者ワンポイント・レッスン
12:30～ 未来の会 民話の雑語り
13:30～ 「口の聴けなくなった娘」他2話
14:00～ 公開講演会
15:30～ 講演者：放送大学副学長 来生 新

流れは掲載した日程表を見ていただくとして、主な内容を紹介します。

9階の第1講義室では、12時半から熟年会の公開勉強会が行われ、8階の講義室では、ソシアルダンスクラブが華やかなダンスを披露します。その後は、未来の会による民話の語りがあるほか、放送大学の来生新副学長の公開講演会「200カイリ時代の日本の海の管理」が開催されます。また講演会の後には、来生副学長を囲んで、茶話会も予定されています。

10月12日(日)
13時から、第1講義室でフェスタ恒例のDVDでオペラを楽しみむオペラ鑑賞会があります。8階講義室では健康体操や朗読の会「こころ」による朗

読、オカリナ演奏と盛りだくさんのプログラムが予定されています。そして、フェスタは最後に沢山の方が心待ちにしている懇親会パーティーで幕を閉じます。

2日間共通のイベントとして、各団体活動の展示(第2講義室)、バザー(第3講義室)、個人作品展(第4・5講義室)が予定されているほか、9階ロビーには、お馴染みの茶席も設けられます。また、同じ9階ロビーで、俳句・川柳大会も開催される予定です。

第1講義室	
13:00～	サークルおみや DVD オペラ鑑賞会
15:30～	ワーグナー「さまよえるオランダ人」
8階講義室	
11:00～	健康体操研究会 健康体操
12:30～	ダンスの発表
13:00～	朗読の会「こころ」 朗読発表
14:30～	
14:45～	オカリナ同好会 オカリナ演奏
15:30～	
16:00～	懇親会パーティー
実習室	
10:00～	熟年会 パソコン初心者教室
12:00～	

第1講義室	
12:30～	熟年会 公開勉強会
14:00～	
8階講義室	
10:30～	ソシアルダンス
12:00～	フォーマーセッション・ダンス他 来場者ワンポイント・レッスン
12:30～	未来の会 民話の雑語り
13:30～	「口の聴けなくなった娘」他2話
14:00～	公開講演会
15:30～	講演者：放送大学副学長 来生 新

一般公開講演会
「200カイリ時代の日本の海の管理」

200カイリ時代を迎えた現在、海洋国家と言われる日本は今後、何をすべきか。



講師：来生 新
放送大学 副学長

10月11日(土)
14:00～15:30
場所：放送大学埼玉学習センター
8F講義室(申込順：100名)
申込は以下のHPから
<http://www.sc.ouj.ac.jp/center/saitama/>

卒業証書・学位記授与式

平成26年9月28日(日)
午前11時から、埼玉学習センター8F講義室において、平成26年度第1学期の卒業証書・学位記授与式が行われます。卒業生・修了生は92名で、併せて生涯学習奨励賞の授与も行われます。

【生涯学習奨励賞受賞者】
・金 賞
江川康範、白鳥 誠

・銀 賞
崇島三郎、武村勝人、土田清作、松尾 孝、松尾洋子、矢野公士

平成26年度第2学期 入学者の集い開催
平成26年度第2学期の入学者の集いは、10月4日(土)午後1時30分から埼玉学習センター8F講義室で開催されます。

学生研修旅行は11月4日(火)筑波宇宙センター
今年度の学生研修旅行は11月4日(火)に実施されます。「筑波山から関東平野を一望し、筑波

卒業証書・学位記授与式
授与式

いろいろな「サロン」
で学びの秋を
楽しませませんか

* ティータイム科学談話会「光合成」|| 永澤明
10月5日(日)
14時～15時半

* サロンあんど「リニア中央新幹線は『夢の超特急か?』」
|| 安藤陽典 教授
14月21日(火)
14時半～16時

* サロン宇田「英国短編小説を読む」
|| 宇田和子 客員教授
11月22日(土)
10時～12時

探訪コーナー
宮城学習センター
放送大学埼玉同窓会
会長 森岡加代

9月6日(土)・7日(日)の両日、宮城学習センターに於いて第2回東北・北海道ブロック同窓会交流会が開催された。仙台は遠いと思っていたが、東北新幹線で大宮と仙台はたったひと駅である。仙台駅西口から青葉通りを抜けて徒歩で約15分、東北大学の片平キャンパスに到着。1日目の会場は、「片平さくらホール」である。広いキャンパスの中で、案内の放送機が聞こえてくる。

宮城学習センター
東北大学片平キャンパス内の宮城学習センター

泉拓良先生との出会い
木村俊夫

私は在職中、旧浦和市の遺跡調査会埋蔵文化財「考古学」発掘調査主任を務めていた。

退職後は放送大学で学び、平成22年、人間と文化の専門科目「考古学」を履修した。講師は京都大学大学院の泉拓良教授と上原克人教授だった。最初は不気味だった。

大学の旗や看板にホッと
する。
内容は、記念講演と修士論文・卒業研究の発表会で、講師は埼玉でも講演を頂いた前副学長、現図書館長の吉田光男先生である。演題は「チャングム・トニー・サムスン電子」―韓流歴史ドラマを通して見る韓国と日本の歴史認識―。佐々木同窓会宮城野会会長・原所長・同窓会連合会矢野会長代行の挨拶に続いての講演は、広い会場を埋めた聴衆を魅了し、予定時間オーバーにも拘らず、もっと聴きたくて残念な思いをこぼした。

研究発表は「山の神についての一考察」安喰由幸さん、「看護学生のアイデンティティと主体性の関連」傍島智子さん、「義務教育学校の統廃合の変遷」に関する歴史的研究―石巻市雄勝地区の事例を通して―森俊英さんの三題で、熱心な発表と講評・質問に、これまた時間オーバーとなった。

が、会場使用の限界時間まで議論は白熱した。二日目の会場は、片平キャンパス内の宮城学習センターである。風格ある赤レンガの建物は、関東大震災の前年に建築された東北大学の歴史的建造物で、3・11の震災でもほとんど被害はなかった。周辺には樹齢百年を誇る仙台市指定の保護樹木や種々の樹木が数多く、センター玄関前の小庭園は由緒ある樹木園を整備したものと聞いた。

ブロック交流会には、北海道・青森・秋田・山形・宮城と長崎同窓会に連合会本部が加わり26名が参加した。ここでの議論も時間が足りないほどの盛り上がりを見せ、だれもが良い会であったと感じたことであろう。

後、「考古学」は再試験を受けて、成績Cで合格した事を話すと、「難しくしていません」と逆に、謝られた。その後、文学部史学科の博物館実習で、12人の学生さんと博物館の考古部門の説明を聞いた。

「転校生」
笹原誠二
私の父が国鉄(現在のJR)に勤めていたためか、父の転勤の度に私は小学校だけでも九州管内を4回あまり転校した。初めて大分市の小学校に入学した4月の中頃、やっと登下校の道を覚えて、隣の席の女の子の胸のハンカチに書かれた名前が読めるようになった矢先、突然、北九州・門司の小学校に転校。

その後半年も経たないうちに、同じ市内の別の小学校に転校となった。もう、暫くは転校する事はないだろうと思っていたら、3年生の春には筑豊炭田の中心地・直方市の小学校へ転校。そして5年生になる春にはまた鹿児島市の小学校へ転校となった。転校する度に教科書は変わるし、慣れ親しんだ友達も最初から洗い直す必要があった。

鹿児島へ向かう列車をクラスの仲間や先生に見送られた時は、思わず涙があふれそうになった。鹿児島に転校した際、鹿児島弁で話しかけられても、さっぱり解らず何度も聞きだして、ゆっくり話してくれるように頼むことが数ヶ月続いた。担任の先生が「私も長い間、鹿児島に住んでいるが、いまだに土地の人の話はさっぱり解らないよ」と慰めてくれた。

それから2年後の4月、入学したばかりの中学校から、また北九州・八幡市の中学校へ転校となった。中学生以上の転校の場合、理科や社会の選択が異なり困ることが多かった。

が、会場使用の限界時間まで議論は白熱した。二日目の会場は、片平キャンパス内の宮城学習センターである。風格ある赤レンガの建物は、関東大震災の前年に建築された東北大学の歴史的建造物で、3・11の震災でもほとんど被害はなかった。周辺には樹齢百年を誇る仙台市指定の保護樹木や種々の樹木が数多く、センター玄関前の小庭園は由緒ある樹木園を整備したものと聞いた。

「転校生」
笹原誠二
私の父が国鉄(現在のJR)に勤めていたためか、父の転勤の度に私は小学校だけでも九州管内を4回あまり転校した。初めて大分市の小学校に入学した4月の中頃、やっと登下校の道を覚えて、隣の席の女の子の胸のハンカチに書かれた名前が読めるようになった矢先、突然、北九州・門司の小学校に転校。

その後半年も経たないうちに、同じ市内の別の小学校に転校となった。もう、暫くは転校する事はないだろうと思っていたら、3年生の春には筑豊炭田の中心地・直方市の小学校へ転校。そして5年生になる春にはまた鹿児島市の小学校へ転校となった。転校する度に教科書は変わるし、慣れ親しんだ友達も最初から洗い直す必要があった。

鹿児島へ向かう列車をクラスの仲間や先生に見送られた時は、思わず涙があふれそうになった。鹿児島に転校した際、鹿児島弁で話しかけられても、さっぱり解らず何度も聞きだして、ゆっくり話してくれるように頼むことが数ヶ月続いた。担任の先生が「私も長い間、鹿児島に住んでいるが、いまだに土地の人の話はさっぱり解らないよ」と慰めてくれた。

それから2年後の4月、入学したばかりの中学校から、また北九州・八幡市の中学校へ転校となった。中学生以上の転校の場合、理科や社会の選択が異なり困ることが多かった。

が、会場使用の限界時間まで議論は白熱した。二日目の会場は、片平キャンパス内の宮城学習センターである。風格ある赤レンガの建物は、関東大震災の前年に建築された東北大学の歴史的建造物で、3・11の震災でもほとんど被害はなかった。周辺には樹齢百年を誇る仙台市指定の保護樹木や種々の樹木が数多く、センター玄関前の小庭園は由緒ある樹木園を整備したものと聞いた。

投稿コーナー

世界遺産「富岡製糸場」④ 富岡製糸場及び絹産業遺産群

荒川良雄

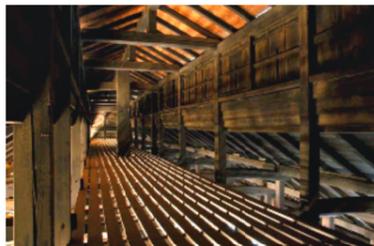
世界文化遺産の「富岡製糸場及び絹産業遺産群」は、繭を生糸に加工する「富岡製糸場」と蚕の卵を生育し蚕から繭を取り出す「絹産業遺産群」、つまり「田島弥平旧宅」(伊勢崎市)・「高山遺跡」(藤岡市)及び「荒船風穴」(下仁田町)から成り立っている。では、「蚕」・「田島弥平旧宅」と当該旧宅が何故伊勢崎市に所在するのであろうか。

「蚕」は、「鱗翅目・蚕蛾科」に分類される蝶・蛾の仲間であり卵から孵化して幼虫、サナギを経て、羽化して成虫になる。繭を作るまでには、孵化から4週間ほどかかる。この間、成長を続ける蚕は脱皮を4回くり返す。生まれたばかりの幼虫は「1齢(レイ)」。以後脱皮する度に「2齢」・「3齢」・「4齢」・「5齢」と言う。「5齢」の終わり頃、桑の葉を食べなくなつた蚕は、体が透き通つた飴色に変化して「熟蚕」となり、昼夜を分かたず2〜3日間繭糸を吐き続け、繭を作る。吐き出された繭糸は一本だが、長さ1.5kmから1.8km程になる。幼虫は繭の中でサナギ↓成虫となり、繭に穴を開けて外に出て交尾をする。



田島弥平の肖像画

雌は大体500粒ぐらいを産卵する。成虫の寿命は4〜5日と短い。「田島弥平旧宅」の田島弥平は、幕末から明治にかけて、優良な蚕種(さんしゅ)を生産する養蚕技法「清涼育」(せいりょういく)を体系的に完成させるとともに、規範となる養蚕用建物を発案し、近代養蚕飼育法の確立を図つた。養蚕用建物の構造は、1階住居、2階養蚕室、屋根の上に乗る小屋根は「やぐら」と呼ばれ、幅約1.8m、高さ約2mあり、大人が立つて容易に移動出来る空間が広がっている。「やぐら」には引き戸があり、この戸と2階蚕室の四方の窓を開閉することにより蚕室内の環境を調節した。明治5年田島弥平は、『養蚕新論』を出版し、「清涼育」の普及に努め、明治後期に「高山遺跡」で行われた養蚕法(清涼育)が普及するまで、養蚕技術に大きな影響を及ぼした。「田島弥平旧宅」の所在地は伊勢崎市境島村(通称島村)、地図を見ると利根川の右岸、つまり埼玉県側に食い込んでいるところにある。利根川は川筋に住む人に恵みをもたらすと同時に、暴れ川であった。通常の田畑ではすぐ水に浸かってしまい生活出来なくなるので、村人が選んだのは上流から運ばれた土砂でも栽培できる桑を植えて



換気装置(やぐら)を備えた蚕室

て生計をたてることであつた。1844年(弘化元年)田島弥平は父親とともに奥羽等で養蚕法を学び、境島村に広め、江戸時代末期、島村の約300戸数の内約250戸、つまり約83%が蚕種製造に携わつた。これにはヨーロッパの養蚕事情が影響している、19世紀半ばヨーロッパでは蚕に微粒子病が蔓延し、大量の健康な蚕種を必要として、日本から輸入の機運が高まつた。

境島村は利根川沿いにあり、「島村蚕のふるさと公園」の脇にある利根川堤防には「海から177.5km」の表示があり、蚕種を横浜へ運ぶ水運に恵まれた土地と言える。蚕種の輸出にあたり横浜居留地貿易商に主導権を握られており、この事態改善のためには、自ら直接輸出しかなないと考えた島村の養蚕農家は、1872年(明治5年)島村勸業会社を結成、1878年(明治11年)には東京府(現東京都)に出張所を設立し直接販売を行った。1879年(明治11年)田島弥平たちはイタリヤのミラノに向き蚕種を現地で販売、現在の貨幣価値に換算して3億円ほどの利益を上げていた。次回は、「高山遺跡」(藤岡市)と「荒船風穴」(下仁田町)を記す予定である。

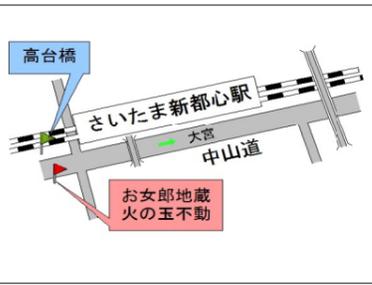
俳句

ひとひらの甲骨片や星祭	涼新たカーブミラーに波の音	祖父の手の定かなりけり門火焚く	手のひらの新涼の水匂ふなり	新涼や造り酒屋の奥の奥
十詩	明美	由美	規子	八重子
新涼のわけても空の青さかな	短夜の爪でかきたす生命線	夕映の阿修羅像なる秋思かな		
保子	安代	とく江	光娥	

四方山話

永見洋介

《火の玉不動》(承前)
前号では、身を焦がした恋を諦め、絶望して高台橋から身を投げた千鳥の霊魂を慰めるために、「お女郎地蔵」が建てられたという地域に伝わる伝承を話した。



その後日談である。「お女郎地蔵」が建てられた後も、高台橋付近にふわふわと飛ぶ火の玉は無くならなかった。それは無くなると、どうにも気が悪くて、近寄るの火の玉は高台橋から身投げをした千鳥の霊魂だといふ噂が多かつたが、実は、「お女郎地蔵」の傍らにかめしい形相で立っている不動明王の仕業だといふ説もあつた。そこで、その正体を見極めようと意気込む沢山の力自慢や腕自慢が出か

けて行つた。しかし、人間相手ならば恐れを知らぬ不屈な力自慢や腕自慢も、戦う相手が人間では無くなると、どうにも気が悪くて、近寄るの火の玉は高台橋から身投げをした千鳥の霊魂だといふ噂が多かつたが、実は、「お女郎地蔵」の傍らにかめしい形相で立っている不動明王の仕業だといふ説もあつた。そこで、その正体を見極めようと意気込む沢山の力自慢や腕自慢が出か

ついにある夜、決死の覚悟を決めた一人の男が、必ずや火の玉の正体を見極めようと、しとしと小雨の降る中を松の陰に潜んで待ち構えた。すると、男は思い切つて、渾身の力を込めて、その火の玉に斬りつけた。その途端、「ギヤァ」という声と共に、火の玉は消えてしまった。男が火の玉が消えた暗がりを見つめると、もの凄いい形相の男が立っていた。「お前は誰だ」と尋ねると、「我は不動明王なり」と、

と答えた。男が「不動明王」の隣には、石の不動明王が怖い顔で立っていたが、剣を持つ腕は切り落とされていた。それ以来、人々は、その不動明王を「火の玉不動」と呼ぶようになったと云われている。人々が敢えて「火の玉不動」と呼んで祀つたのは、不動明王の心理を慮つたからではなからうか。徳次郎への怒りと同時に、薄幸の千鳥に対する不動明王の憐憫の情が鎮魂の火の玉となつて、夜ごと彷徨い出てきたのではな

いかと地域の人々は考へたのだから、今まで知らなかつた埼玉県の民話や伝承を調べてみるのも面白いと思う。読者の方々も、居住している地域に残されている民話や伝承などを、是非、知らせて欲しい。あるいは、直接、新聞への投稿なども歓迎する。

この地域では、自治会・商店会が中心となり「出会い・ふれあい・そしてお友達」をメインテーマ

今回の『四方山話』は、たまたま、川口から自転車で埼玉学習センターへ行く途中で、不思議な祠に遭遇した事から、いろいろ興味を広がって取材につながつた。考えてみると、埼玉県にはもつと様々の民話や伝承が、沢山残されているのだから、今まで知らなかつた埼玉県の民話や伝承を調べてみるのも面白いと思う。

読者の方々も、居住している地域に残されている民話や伝承などを、是非、知らせて欲しい。あるいは、直接、新聞への投稿なども歓迎する。

この地域では、自治会・商店会が中心となり「出会い・ふれあい・そしてお友達」をメインテーマ

と、「我は不動明王なり」と、

サロン「かんの」
「アメリカ魂のふるさと」を見る
埼玉学習センター所長：菅野峰明

- *第1回 11月20日(木)
「アメリカンドリームに惹かれて
-ニューヨーク・ナイアガラ」
- *第2回 12月18日(木)
「伝統と改革のはざまで-南部」
- *第3回 2015年1月15日(木)
「地平線に向かって走れ
-五大湖~大平原」
- *第4回 2015年2月12日(木)
「フロンティアの残照
-アリゾナ・ニューメキシコ」

*申込 埼玉学習センター10階受付へ
*TEL: 048-650-2611

囲碁専科

- ★定例会
10月7日、21日、28日
- ★定例会・勉強会
10月11日(土)
- ・場所 第1講義室
- ・定例連絡 12時~30分
- ・公開勉強会
12時半~14時
- 「国有財産の現状について」

サークル案内

サークル おおみや

- ★10月4日(土)
「入学者の集い」でサークル案内と会員募集
- ★10月11日(土)
10月12日(日)
「第8回埼玉フェスタ」開催と参加の呼びかけ
- ★11月19日(水)
「横須賀軍港めぐり」
京急品川駅改札口に10時集合

朗読の会「はろ」

- ★定例活動日
毎月第2・第4木曜日
場所 第5講義室
時間 13時~16時半
- ★体験歓迎
*10月は休会(フェスタ参加のため)

健康体操研究会

- ★毎週火曜日に開催
9月30日、10月7日、10月21日、28日、11月4日、11日、11月18日、25日
時間 10時半~12時

江戸時代の古文書を読む会

- ★定例開催日
10月18日(土)
10月25日(土)

放送大学熟年会

- ★定例会・勉強会
10月11日(土)
- ・場所 第1講義室
- ・定例連絡 12時~30分
- ・公開勉強会
12時半~14時
- 「国有財産の現状について」

埼玉同窓会

- ★9月28日(日)
卒業証書・学位記授与式 8階 講堂A
終了後、祝賀会を開催
会費千円・乞参加
*学歌で祝います
9月28日(日) 卒業証書・学位記授与式
10月4日(土) 入学者の集い

編集後記

皆さんが心待ちにしている埼玉フェスタが、間もなく開催されます。参加の経験が無い人も、今年是非、参加してみてください。新しい発見が出来ますよ。そして、その発見を新聞に投稿してください。(冬)